

【学校だより】



はまなつめ

第10号

令和8年9月15日(火)

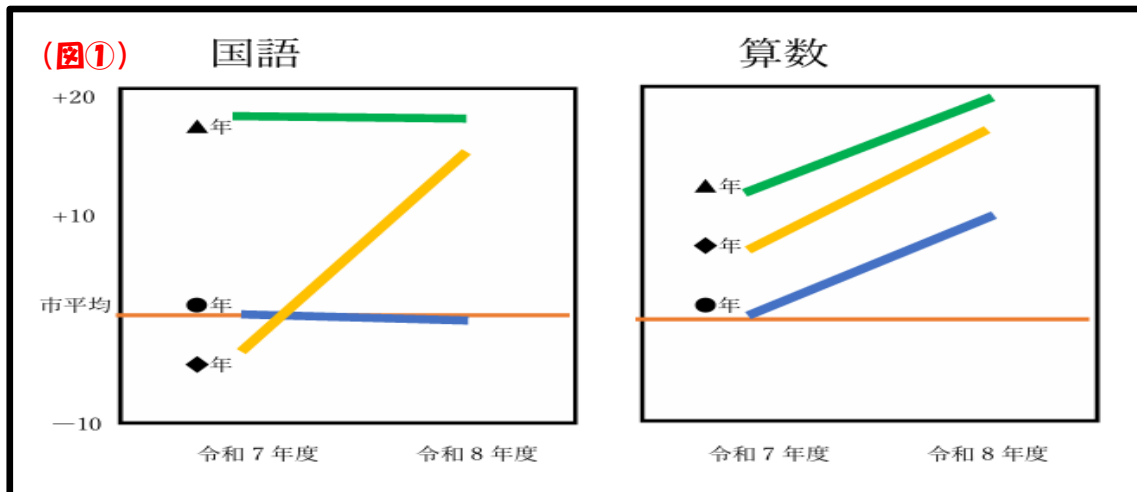
長崎市立川原小学校

校長 神田 学

『一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 ～ 子どもも教師も輝く学校 ～』

全国学力・学習状況調査等の結果

全国学力・学習状況調査(6年生対象)は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的に実施されています。また5年生は県学力テスト、3・4年生は市学力テストが実施されていることはご存じのことと思います。今年度の結果を次のとおりお知らせします。



(図②)は、令和2年度から令和6年度の結果です。令和6年度は、すべての学年で市や県の平均を1点～13点上回ることができました。

(図①)は、令和7年度(3・4・5年生)と令和8年度(4・5・6年生)の結果です。

令和8年度は、各学年の結果がさらに向上しています。市(県・全国)の平均をただ単に超えただけではなく、平均を大きく上回っています。長崎市内の他校と比較しても非常に高い水準の結果となっています。平均を10点上回るのは難しいのですが、特に算数科におきましては、昨年度との比較においても、すべての学年で結果が大きく向上し、平均を20点近く上回った学年もあるなど、長崎市内でもトップクラスの結果となりました。

本校は児童数が多くありませんので、1人、2人の結果で平均点が変わってきます。結果に一喜一憂しすぎず、調査問題は、子どもたちに身につけさせたい力を調査問題という形で示している「授業改善へのメッセージ」だととらえることを大切にしています。また、全体の結果ばかりに目を向けるのではなく、個々の児童に目を向け、一人一人の結果がどうだったのかを細かく分析することなど、様々に分析し、今後の授業改善に生かしていきたいと考えております。現在、令和8年度川原小学校学力向上プランを作成しているところです。この調査結果をもとに、今後ますます授業改善を進めていきたいと考えています。

さて、今年度からすべての学年が複式となり、本校は、学力を保障するためのよりよい複式授業のあり方を追求していくことが課題となっています。そのためには、よりよい学習環境も大切であると考えております。右の写真は、2階の一番奥の教室のこれまで背面だったところです。夏休み中に、棚を撤去し、複式の学習に、より取り組みやすいように環境を整備しました(3階も同様)。本校の願いを受け、他の長崎市内の複式学級を有する市立学校にはない工事をしていただいた長崎市教育委員会の理解ある対応に感謝しているところです。今後、旧背面側専用の黒板も設置する計画をしております。



<長崎南商工会女性部からの雑巾寄贈>

これまでも長崎南商工会女性部の皆様から雑巾をいただいているところですが、今年度も、9月1日に来校され、たくさんの雑巾を寄贈していただきましたのでお知らせします。



<10月の行事予定>

- 3日(土) 長崎市小中科学教育展(～12日)
- 5日(月) 委員会活動
- 14日(水) 5・6年小体会、全校お弁当の日
- 18日(日) 家庭の日
- 20日(火) おひさま学級交流会(三和体育館)
- 21日(水) 就学時健康診断(R9入学予定児童)
PTA除草作業 17:00～
- 26日(月) クラブ活動
- 27日(火) 3・4年
社会科見学

